

緑のカーテン取り組み情報



お名前	幼保連携型 押原こども園（昭和町）		
育てた植物の種類	ぶどう		
設置場所	園庭大型遊具横(遊びの休憩、待合場所)		
カーテンの大きさ	高さ: 約 4m, 幅: 約 1.6m	取り組み年数	3年目

緑のカーテンの効果

夏でも外で遊べるよう、園内にはツリーハウスの森があるが、大型遊具の周りは、日向で暑い。そこで待合の場所、休憩場所に日陰を作るため、ぶどう棚(カーテン)を設置。今はまだ年数が少ないため、カーテンだけだが、今後は棚にして、もっと木陰を作る予定。暑い時期の日蔭は、視覚的な安らぎがあり、食育でも果物の成長を観察する、収穫の楽しみを体験するなどの効果がある。

育てる際の工夫・苦労

苗木が小さかったので水やり、添え木づくりに苦労した。小さな実をつけても理解できない年齢の園児に、むしり取られ、全員に周知することが難しかった。また、隣の畑の雑草が多く、毛虫が多かった。消毒薬散布をしなかったため病害虫対策は今後勉強が必要。

感想・楽しみ方など

園児も保護者も成長を楽しみ、季節を感じている。葉が紅葉して落ちる。それでも春になると、新芽が出て青々と葉が成長する様を夏休みに遊びに来る卒園した園児も、確認する喜びがある。人の集いが、この緑にはある。